



# 城陽おひさまプロジェクト news

第 52 号 2022 年 6 月 8 日 NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

0774-55-4190 <http://jyoyonokai.sakura.ne.jp>

## 第 10 回通常総会を 5 月 28 日に開催

### 全議案全員賛成で可決

### 2022 年度はパネル設置や LED 交換会を軸に活動を展開

第 10 回通常総会は昨年と同じ鴻の巣会館で行われ 2 時に開会、委任状を含め 43 人の参加で開催されました。最初に理事長が「コロナで昨年にひきつづいて記念講演の無い総会となったのは、感染予防を重視したとはいえ残念です。会の発足 10 年を迎え転機となっていると思う。積極的な意見をお願いする」と挨拶。議長の選出に移り杉浦副理事長が選出されました。

第 1 号議案の報告を求められた土居理事長はパワーポイントを使って次のような 2021 年度の活動を報告しました。

まず現在も続いているコロナ感染の状況が示されました。城陽市内での新規感染者数のグラフを示され、昨年末からの第 6 波が最大時 400 人を超える週があり、現在はその頃よりも落ち着いてきたが、それでも 100~150 人/週を推移していて決して沈静化しているとは言えない状況であり、今年度もこのことを念頭に活動していかないといけないとされました。

次に昨年の総会で山内理事の退任と三ツ橋理事の就任などが紹介されました。

そして昨年度の活動として次の 4 つの柱が示されました。

1. カーボンゼロシティ宣言の実現
2. 第 2 回 LED 電球無料交換会の実施 (青谷コミセン)
3. おひさまニュース 50 号記念合冊の作成
4. おたずねと要望の提出・回答

これらの活動内容はおひさまニュース 51 号で紹介していますのでそちらをご覧ください。また、青谷コミセンで行いました第 2 回 LED 電球無料交換会でのミニ講演会・「LED 電球おすすめのわけ」を一部再上映して参加者に見て頂きました。

#### LED おすすめのわけ

NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会  
2022/2/27 白熱電球と LED 電球の無料交換会 (城陽市青谷コミセン会場)

白熱電球 60W	年間電気料金	9,988 円
消費電力 54W	CO2 排出量	71.85 KG
	寿命	1000~2000 時間

LED 電球 60W 形	年間電気料金	497 円
消費電力 6.9W	CO2 排出量	(白熱電球の 12.8%) 9.16 KG
	寿命	40000 時間

年間電気料金	差	9,911 円
CO2 排出量	差	62.67 KG
寿命差		39000~38000 時間

条件：点灯時間 1 日 8h × 年間 360 日 = 2880h  
電気料金 25 円 / kWh, CO2 排出係数 0.462kgCO2 / kWh



最後に会員数は現在 151 名、2019 年をピークに減少している事、2018 年から発電所の建設が出来ていないこと等が報告され、今年度は会員を増やし、新しい発電所をつくろうと結ばれました。

関根理事からは活動計算書の報告がされました。経常収益は 37 万 7 千円、経常費用は 41 万 5 千円で税引前当期正味財産増減額は △3 万 8 千円になったことが報告されました。

つづいて濱田監事から「5 月 12 日に事務局及び会計より最終説明を受け、収支報告書、設置協力金等

及び事業内容に関する質問を行い、適正に執行運用さ

れている事を確認」したとの監査報告がありました。

2 号議案、2022 (令和 4) 年度事業計画・予算を古家野事務局長・理事から提案がありました。ここでは宇治市内の福祉団体とパネル設置の企画が進行していることと、当初より 9 年間ですすめていたゼロ円システムを 5 年間に短縮する案が出されました。その他、脱炭素の取り組みとして第 3 回 LED 無料交換会の開催、カーボンゼロシティ宣言都市にふさわしい施策の具体化などを求める「お尋ねと要望」の提出、ホームページに加え、ユーチューブの活用を検討す

ることなども計画に盛り込まれました。そしてこの活動を財政的に裏付ける予算案は経常収益が935万1千円、経常費用が935万4千円で提案されました。

全ての議案等が報告されたのち、総会の成立状況の報告を求めたところ委任状を含め44人の参加があり、総会は成立しているとのことでした。

### 提案を受けて質疑や補足説明

質疑に移り、古家野理事から補足説明として、「パネル設置に向けて調査活動を強めていかなければいけない、京都市内のNPO法人は福祉法人に集まって頂きパネル設置の説明会を行いこれまでに24基の取付を行っている。私たちも宇治・城陽などの地域で社会福祉法人がどのくらいあるのかなどは把握していきたい。これまでに設置の働きかけを行った福祉団体では自前で取り付けたところもある（城陽富野地域や宇治の福祉施設）があり、私たちの事業とはならなかったが、再エネの普及がすすんだと言うことになる。発足10周年目となり、今後のことを考慮してゼロ円システムの期間を9年から5年に短縮の提案をしている」。土居理事長からは「これからは個人宅の屋根にこだわらず、公的施設や農地なども視野に入れよう」と発言がありました。



第10回総会（鴻の巣会館）

50号記念の合冊では京都の団体が「参考にしたい」と関係者に回覧をしている、という嬉しい報告がありました。また、合冊は国会図書館や府立図書館、城陽市立図書館・歴史民俗資料館等に送付しました。洛タイ新報に記事が掲載されたことや木津川市図書館からはスペースや地域とのつながりの関係で受取をされなかったことなどが報告されました。

また、監査報告の中でしたが、LED交換会に於て地域の人たちの参加を得るうえでチラシに料金受取人払ハガキを刷り込むなどの工夫を評価する発言もありました。

### 全ての議案を全員賛成で可決、今年度は会員を増やし、新しい発電所をつくろう

質疑・討論を終え、いづれの意見も賛意を表するものであり、議長から拍手で採決したい旨の提案が行われました。これについて賛同を得たので、1号議案、2号議案について議場に諮ったところ、全員の拍手で可決されました。また、3号議案議事録署名人については加藤理事と関根理事に要請、承諾を得て全員の賛成で二人に決定しました。

総会は全ての議案を可決して3時半終了しました。

◇今年度も城陽市にお訊ねと要望を行う予定です、カーボンゼロシティ宣言の具体化を私たちの声でつくっていききたいと思います。ぜひみなさんの脱炭素の思いや施策を事務局までお寄せください。

### 会費納入をよろしく

会費の納入がまだの方は500円/年の納入をお願いいたします。

\* 当会のゆうちょ銀行口座への振り込みはご自身の口座から当会の口座への口座間送金はATMで100円の手数料ですが、ゆうちょダイレクトですと無料（月5回は無料）です。500円硬貨の預け入れも引き出しも110円の手数料ですが、現金払いか、2年分のお支払いが少し節約になります。

#### **会費（500円）納入口座**

ゆうちょ銀行：記号14400 番号：10163511

口座名義人：特定非営利活動法人市民共同発電をひろげる城陽の会  
（トビ）ミンキョウドウハツデンノヒロゲルギョウヨウカイ

他の金融機関からの振込の場合は

店番：448 普通預金口座番号：1016351 口座名義人：上記に同じ

本会のQRコードです。本会ホームページを閲覧することができます。



NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会連絡先 0774-55-4190 e-mail [bnkmf858@kcn.jp](mailto:bnkmf858@kcn.jp)